ふくしまオンリーワンの学びと合宿を両立

「合宿 × ホープツーリズム」

～ホープツーリズム「自分自身を成長させる学びの旅」～

インプット

見る
施設見学、フィールド学習を通して、「光と影」の両面を感じる。

＋

聞く
復興に向けて"挑戦"する多様な分野の人々との対話。

→

アウトプット

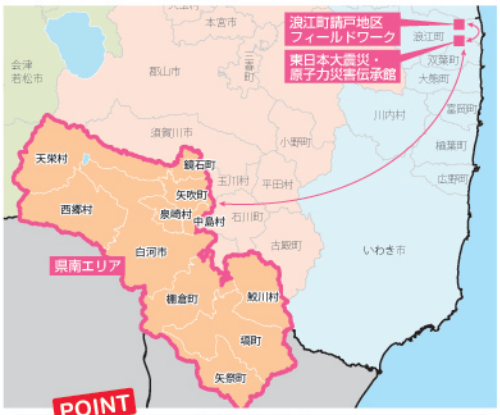
考える
インプットでの気づきを踏まえ、社会・地域の一員として持続可能な社会・地域を創って行くために、自分事として考える。

ホープツーリズムとは、福島県が推進する「震災・原発事故の影響地域」をフィールドとした、「アクティブラーニング（主体的・対話的で深い学びの実現）」対応型の新しい教育旅行プログラムです。

世界初の複合災害（地震・津波・原発時・風評被害）を経験した唯一の場所。「震災・防災学習」の枠では収まらない、ふくしまオンリーワンの学びと合宿を両立した新しい合宿は、選手が成長するきっかけとなります。

福島県南エリア合宿 ＋ ホープツーリズム ［モデルコース4泊5日］

1～3日目	練 習	【福島県南エリア】午後：練習
	練 習	【福島県南エリア】終日練習
	練 習	【福島県南エリア】地元学生と交流試合
4日目	8:30	【福島県南エリア】ホテル発
	見 学	【双葉町】**東日本大震災・原子力災害伝承館ガイダンス**
	聞 く	【双葉町】**語り部との対話**
	食 事	【双葉町】東日本大震災・原子力災害伝承館内会場
	見 学	【双葉町】**東日本大震災・原子力災害伝承館見学**
	見 学 聞 く	【浪江町】**フィールドワーク**
	考える	【双葉町】**アウトプット（振り返り）**
	17:40	【双葉エリア】宿泊施設着
5日目	8:30	【双葉エリア】宿泊施設内会場
	考える	【双葉エリア】**避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」ワークショップ**
	15:30	学校帰着



POINT

フィールドパートナーとは

ホープツーリズムツアー中のアテンド、ファシリテートを担当し、生徒を学びの成果に導く総合案内人。「見る」のスポット・施設訪問後、「聞く」の対話後に、情報整理・補足説明・生徒への問いかけを行い、生徒の探究心や学びに向かう力を引出します。

見る

東日本大震災・原子力災害伝承館

2020年9月20日、東日本大震災・原子力災害伝承館が福島県双葉町にオープンしました。2011年3月11日に起きた大地震と津波、そして原子力災害について、その経験や教訓、復旧・復興の取組、新たな挑戦を学ぶことができます。

【所在地】双葉町
【所要時間】見学70分
（オプション：導入ガイダンス20分、フィールドワーク70分、語り部との対話40分）
【料金】有料（入館料のみ減免制度あり）

見る 聞く

浪江町請戸地区フィールドワーク

震災前は住宅等が密集した漁村の風景が広がっていた沿岸部の地域。15mを超える津波で壊滅的な被害を受けただけでなく、震災の翌日に原発事故による避難指示が出された。津波に襲われ半壊の状態となった請戸小学校等が震災当時の姿を残す一方、2017年3月の避難指示解除により、請戸漁港に一部の漁船が戻る等、復興に向けた動きが活発化している。

■請戸漁港（漁業の現状と課題）→■請戸小学校（震災遺構の見学）→ ■大平山霊園（慰霊、津波被害の状況、原発事故がもたらしたもの）

【所在地】浪江町　【所要時間】70分
【料金】有料

考える

避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」

東日本大震災でのふくしまの教訓を、避難所運営で実際に起きた問題を解決していきながら学ぶワークショップ型防災教育ツールです。

【所在地】福島県全域で実施可能。
【所要時間】90分～120分
【料金】有料

お問い合わせ　024-525-4060　8:30～17:30（土日祝日を除く）

hopetourism@tif.ne.jp
https://www.hopetourism.jp/

QRコード

福島県知事登録旅行業第2-362号
公益財団法人福島県観光物産交流協会
〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま7階　TEL.024-525-4060　FAX.024-525-4087